

主な議案 9月 定例会

今回は、平成25年度決算の認定と刈谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定についてなどです。質疑については、本会議で報告された各委員会の委員長報告を中心に、要約して掲載します。

平成25年度決算を認定 一般会計で歳入が歳出を56億円上回る

決算審査特別委員会 審査のあらまし

本会議での説明後、議員選出の監査委員（伊藤幸弘議員）を除く全議員で構成する決算審査特別委員会を設置しました。

さらに、企画総務、福祉経済、建設水道、文教の4分科会を設置しました。分科会では監査委員出席のもと、審査が行われました。

24日の決算審査特別委員会では、分科会での審査結果を踏まえ、採決を行いました。

討論では、西三河地方税滞納整理機構が徴収業務を行っていること、国民健康保険料が値上げされたこと、学校給食の提供は自校自園方式であるべきと考えることなどの理由から反対であるとの意見がありました。



代表監査委員による意見陳述

一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計については、起立採決の結果、賛成多数により、原案のとおり認定することに決定しました。

企画総務分科会

公用車の保有台数と更新の基準、市税の滞納繰越分の収納率向上の要因、防災備蓄品の更新と充実、防犯カメラの設置による犯罪抑止効果と有効性

福祉経済分科会

緊急通報システムなどの高齢者支援事業拡充の考え、中小企業の経営状況の把握、幼稚園給食でのアレルギー食への対応とその内容

建設水道分科会

道路総点検の結果と修繕計画、耐震化計画に基づく橋りょう補強事業の内容及びスケジュール

文教分科会

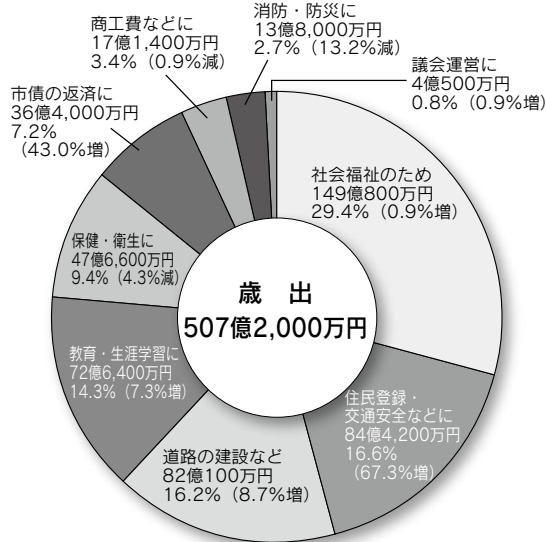
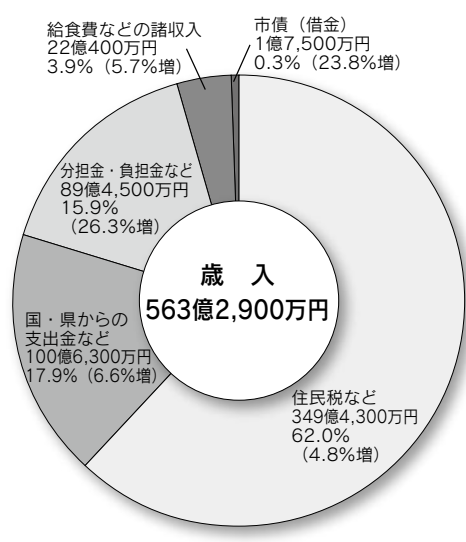
集会所の安全確保と重要性、中高生の居場所づくり事業の現状とボランティア登録者数、子ども相談事業での相談内容と課題、小堤西池のカキツバタ群落の保護及び管理、美術館が購入した美術品の市民への公開、スポーツリーダー養成講座事業の内容

各会計別の決算額

会計名	歳入 (前決算年度対比)	歳出 (前決算年度対比)	形式収支 (歳入歳出差引額)
一般会計	563億2,900万円 (+ 8.1%)	507億2,000万円 (+ 11.8%)	56億900万円
特別会計 合計額	258億6,600万円 (+ 2.8%)	234億3,000万円 (+ 2.8%)	24億3,600万円
水道事業 会計	26億700万円 (+ 0.7%)	24億9,200万円 (+ 3.6%)	1億1,500万円
各会計の 合計額	848億200万円 (+ 6.2%)	766億4,200万円 (+ 8.6%)	

特別会計内訳	歳入	歳出
区画整理事業合計	5億5,400万円	4億9,000万円
下水道事業	52億4,000万円	43億8,000万円
国民健康保険	125億3,900万円	111億3,000万円
後期高齢者医療	13億500万円	13億300万円
介護保険	62億2,900万円	61億2,700万円

一般会計の内訳 (前決算年度対比)



〈国・県からの支出金などの内訳〉 国庫支出金、県支出金、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金〈分担金、負担金などの内訳〉 分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金

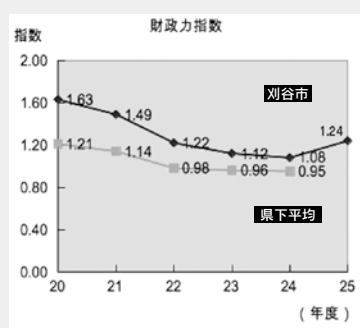
〈商工費などの内訳〉 商工費、農林水産業費、労働費、災害復旧費、諸支出金、予備費
(注) それぞれの数字は四捨五入してそろえたため、総額や割合に一致していない場合があります。

監査委員の意見 (要旨)

Ⅱ 一般会計・特別会計

平成25年度の決算状況は財政分析指標面からも良好なものと判断された。今後の財政状況は、歳入において、自動車関連産業の好況に支えられ市税収入は回復傾向が見られるが、一方で、国による法人市民税の一部国税化、平成27年10月に予定されている消費税率の引上げによる消費及び景気への影響、さらには現在検討が進められている法人実効税率の引下げなど、今後の歳入の見込みを楽観視することはできない。このように歳入の見通しがなお不透明な中、歳出においては、社会保障関連経費、老朽化が進む公共施設の維持・保全にかかると市民の安全・安心に関わる先送りのできない事業が増加することが見込まれる。事業の予算化・実施にあたっては事業の必要性を十分に検討した上で、計画的な事業遂行に努め、今後も健全財政を維持していただきたい。

平成25年は刈谷城が築城されて480年、「維新の魁」といわれた天誅組の義挙から150年となる年として、市民の方々に郷土への愛着を育み、絆を深めていただく施策を展開してきた。こうした施策をステップアップさせ、「歴史と未来が輝くまち かりや」をキャッチフレーズに、住み続けたいまち、住んでみたいまちとして、本市の未来が真に輝くことを期待するものである。



※財政力指数…自治体の財政の強弱を測る方法 "1" を超えるほど財政が健全である

財政状況を財政分析指標でみると、財政力指数は0.16ポイント上昇し、1.24、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は2.9ポイント減少し、74.8%、公債費比率は0.7ポイント低下し、2.3%と全てにおいて状況は好転しており、その数値は良好な水準にある。

Ⅲ 水道会計

平成25年度の純利益は8,861万8千円であり、これまでの企業活動によって獲得した利益の蓄積を示す利益剰余金は13億6,914万9千円となった。しかし、事業開始から50年余を経過し、徐々に施設の老朽化が進行しており、給水施設等の再整備に向けた検討が必要な時期に差し掛かっている。また、南海トラフ巨大地震の発生が想定される中においては、ライフラインを確保するために基幹管路の耐震化等の更なる推進が強く望まれるところであり、これらを着実に実現していくための財政見込みを構築されたい。

貸借対照表から主要な経営指標をみると、構成比率のうち財務状態の安全性を示す自己資本構成比率は91.1%で引き続き良好な水準にある。また、短期債務に対する支払い能力を示す流動比率は、73.2ポイント増の726.2%であり、固定資産が自己資本によりどの程度まかなわれているかをみる固定比率は、1.2ポイント減の87.6%と、望ましいとされる100%以下である。この3つの指標は、良好に推移しており、健全経営が確保されていることを示している。

常に効率的な企業経営に努め、刈谷市水道ビジョンに掲げる基本理念に基づき、安心で安全なおいしい水が将来にわたり供給されることを期待する。

伊藤 嘉徳
中嶋 祥元

平成25年度に取り組んだ主な事業

都市環境分野・・・ 都市と自然が織りなす住みよいまちづくり

- ◆防犯灯を、寿命の長いLEDへ取替えることにより、電気料と修繕料を削減
- ◆名鉄富士松駅下りホーム側に駅舎改札口を新設し、利用者の利便性の向上と安全性を確保



名鉄富士松駅に新設された南口駅舎

- ◆岩ヶ池公園（刈谷ハイウェイオアシス）に太陽光発電設備と普通充電ステーションを設置し、災害復旧時の輸送拠点としての機能を強化
- ◆市民会館跡地に災害復旧活動の拠点となるセントラルパーク（大手公園）を整備し、災害対策機能の強化と市街地の緑を創出



セントラルパーク（防災時使用イメージ）

計画推進分野・・・ 市民と行政の信頼と協働で築くまちづくり

- ◆第7次総合計画の進捗管理を行うため、各施策に対し、外部評価を実施
- ◆施設評価や大規模修繕の基本的な考えを定め、公共施設の適切な維持保全を推進

教育文化分野・・・ 生きる力を育み生きる喜びを実感できるまちづくり

- ◆子ども相談センターを開設し、親や子どもなどの電話相談、来所相談を実施
- ◆ウェーブスタジアム刈谷陸上競技場第3種公認の更新のため、備品及び施設の整備を実施
- ◆中央児童館を「科学体験館」として、リニューアルするため、プラネタリウム更新工事などに着手



来年の春に科学体験館としてリニューアルする中央児童館

産業振興分野・・・ 人と技術で賑わいを創り笑顔で動き続けられるまちづくり

- ◆技能五輪プレイベントである全国産業教育フェアを実施するとともに全国から集まった高校生や青年技術者に「ものづくりのまち刈谷」を発信
- ◆刈谷駅北口に観光案内所を設置し、ビジネス客などに市の土産品販売や観光情報を提供



刈谷駅の北口に設置された観光案内所

福祉安全分野・・・ 支えあいみんなが元気で安心して暮らせるまちづくり

- ◆肺炎球菌等予防接種費用を助成し、高齢者の発病予防や病気の重症化を防止
- ◆交通量の多い通学路の危険区間にグリーン舗装を施工し、児童生徒の安全を確保
- ◆防災備蓄倉庫の設置・更新及びソーラーパネルの設置



ソーラーパネル付き防災備蓄倉庫

刈谷城築城 480 年・・・ 戦国ロマンに想いをはせ未来へ夢を紡ぐ

- ◆刈谷城築城 480 年及び天誅組義挙 150 年を契機として、市民の歴史に対する関心を深めるとともに、文化都市「刈谷」を発信



チビッコ甲冑行列の様子

議決結果一覧表

・工事請負契約の額を変更する専決処分について	了
・公平委員会委員の選任について	承
・固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
・人権擁護委員の候補者の推薦について	同意
・教育委員会委員の選任について	異議ない旨答申
・【福祉経済委員会関係・8議案】	すべて可決
・刈谷市社会福祉事務所設置条例の一部改正について	
・刈谷市母子家庭等医療費支給条例の一部改正について	
・刈谷市中心身障害者医療費支給条例の一部改正について	
・刈谷市精神障害者医療費支給条例の一部改正について	
・刈谷市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	
・指定管理者の指定について（刈谷市立おがきえ保育園）	
・刈谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	
・刈谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	
・【建設水道委員会関係・2議案】	すべて可決
・刈谷市公共駐車場条例の一部改正について	
・刈谷市下水道条例の一部改正について	
・【文教委員会関係・1議案】	可決
・指定管理者の指定について（刈谷市総合文化センター）	
・【平成25年度決算関係・9議案】	すべて認定及び可決
・一般会計歳入歳出決算認定について（認定第1号）	
・刈谷小垣江駅東部土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について（認定第2号）	
・刈谷野田北部土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について（認定第3号）	
・下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について（認定第4号）	
・国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について（認定第5号）	
・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について（認定第6号）	
・介護保険特別会計歳入歳出決算認定について（認定第7号）	
・水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	
・水道事業会計決算認定について（認定第8号）	
・【平成26年度補正予算関係・3議案】	すべて可決
・一般会計補正予算（第2号）	
・後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	
・介護保険特別会計補正予算（第1号）	
・【請願1件】	不採択
・すべての子どもたちがゆたかに育つよう制度の拡充を求める請願	
・【議長発議1件】	決定
・議員の派遣について	
・【議員提出議案6件】	否決
・刈谷市亀城公園等整備基金条例の廃止について	
・軽度外傷性脳損傷に係る周知及び適切な労災認定に向けた取り組みの推進を求める意見書	
・「手話言語法」制定を求める意見書	
・国の私学助成の拡充に関する意見書	
・愛知県の私学助成の拡充に関する意見書	
・定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	